学校番号 404

# 平成31年度　　国語科

| 教科 | 国語 | 科目 | 国語表現 | 単位数 | 2単位 | 年次 | 3年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「　国語表現（改訂版）　」（ 教育　出版） | | | | | | |
| 副教材等 | 「　　」（　　出版） | | | | | | |

## 1. 担当者からのメッセージ（学習方法等）

ことば、文字、絵を使ってさまざまな方法で、自分の思いを表現することを学ぶ授業です。
1学期はいろいろなテーマで、文章を書く練習をします。
2学期は自分の歩んできた道を「自分史作成」で振り返り、長文作成（5000字程度）に挑戦します。
3学期は自分の将来設計をし、それを「すごろく」にして絵と言葉で表現してみます。
定期考査はありませんが、課題を点数化し、その合計を学期ごとの成績としますので、課題は期限厳守で提出してください。

## 2. 学習の到達目標

国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

## 3. 学習評価（評価規準と評価方法）

| 観点 | a：関心・意欲・態度 | b：話す・聞く能力 | c：書く能力 | d：読む能力 | e：知識・理解 |
|---|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。 | 目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えを深め、発展させている。 | 相手や目的、意図に応じた適切かつ効果的な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。 | | 言葉の特徴やきまり、役割などについての理解を深め、知識を身に付けている。 |
| 評価方法 | 授業態度 | プレゼンテーション | 作品の提出 | | 作品の提出 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4. 学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | | 単元（題材）の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | e | | |
| 1学期 | スピーチ<br>&<br>ポスター | 自己紹介<br>自己紹介ポスター作成<br>新商品開発 | ○ | ◎ | ◎ | | ○ | a：何のために、誰に向かって、どのような条件で話すのかを考えようとしている。<br>b：何のために、誰に向かって、どのような条件で話すのかを考えようとしている。<br>c：条件を満たして絵に表現できている。<br>e：話すこと、聞くことに必要な文の組み立てについて理解している。 | a：授業態度<br>b：プレゼンテーション<br>c、e：作品の提出 |
| | 物語創作 | 教材：<br>日本昔話「三人の太郎」のスピンオフ | ○ | | ◎ | | ○ | a：誰もが知っている昔話をあらためて読んでみようとしている。<br>c：自由な発想で物語を創作する。<br>e：語句の使い方、文章の形態、文体が理解されている。 | a：授業態度<br>c、e：作品の提出 |
| | 小論文 | 教材：<br>「17歳のメッセージ」<br>「制服は必要か」<br>「志望動機」<br>「自己PR」<br>「税に関する作文」 | ○ | | ◎ | | ○ | a：文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方で書こうとしている。<br>c：文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方で書いている。<br>e：書くことに必要な、文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。 | a：授業態度<br>c、e：作品の提出 |

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2学期 | 文字で作画 | カリグラム | ○ | | ◎ | | ○ | a：文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方で書こうとしている。<br>c：文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方で書いている。<br>e：書くことに必要な、文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。 | a：授業態度<br>c、e：作品の提出 |
| | 作文 | 教材：<br>「三行ラブレター」<br>「自分史」作成 | ○ | | ◎ | | ○ | a：文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方で書こうとしている。<br>c：文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方で書いている。<br>e：書くことに必要な、文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。 | a：授業態度<br>c、e：作品の提出 |
| 3学期 | 作画<br>&<br>発表 | 「人生すごろく」作成<br>＆プレゼンテーション | ○ | ◎ | ◎ | | ○ | a: 自分の将来設計ができている。<br>b：何のために、誰に向かって、どのような条件で話すのかを考えようとしている。<br>c：自由な発想で人生を、絵で美しく仕上げている。<br>e：自分の将来設計が表現できている。 | a：授業態度<br>b：プレゼンテーション<br>c、e：作品の提出 |

※ 表中の観点について　a：関心・意欲・態度　b：話す・聞く能力

c：書く能力　d：読む能力　e：知識・理解

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。